

# 「自然の恵み」の伝え方

## 生物多様性とメディア

176 ページ

日本環境ジャーナリストの会 編著  
早稲田環境塾 協力



## 「生物多様性」「生態系サービス」 をどう報道すればよいのか？

「生物多様性」「生態系サービス」という、まだ新しく、定義も十分に共有されていない概念を、ジャーナリストはどう報道すればよいのか。

生物多様性の問題は、分野横断的で、利害が複雑に絡みあい、デメリットをもたらすこともある。入り組んだ利害関係のなかでは「客観」報道の立場がどこにも見つけられない場合もある。解説報道、調査報道、そしてアドボカシー（擁護型）報道など、さまざまな報道手法や報道姿勢を検討する必要がある。

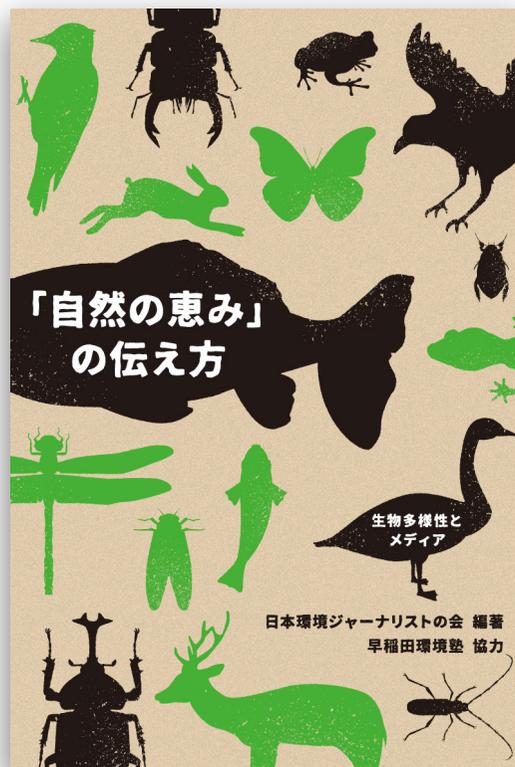
環境報道に携わるジャーナリストたちが、自分の経験したケースをもとに、「生物多様性」「生態系サービス」報道を考察。第一章では『〈生物多様性〉入門』の鷺谷いづみ氏が特別寄稿。

第一章 概説—生態系サービスとは何か？

第二章 「ルポ」生態系サービス—上流域から下流域まで

第三章 探求—生物多様性と報道手法

第四章 討論—「自然の恵み」をどう伝えるか？



本体 1500 円＋税

ISBN978-4-87950-623-8 C0000

2016年8月発行

清水弘文堂書房 刊

### 執筆者一覧

鷺谷いづみ (中央大学理工学部教授)  
原 剛 (早稲田環境塾塾長、元毎日新聞記者)  
岡山泰史 (編集者・クリエイティブックス代表)  
金 哲洙 (農業ジャーナリスト)  
水口 哲 (ジャーナリスト)  
小林 聡 (上毛新聞社編集局文化生活部部長)  
竹内敬二 (朝日新聞編集委員)  
明珍美紀 (毎日新聞記者)  
高田 功 (集英社インターナショナル出版部部長)

貴店（帖合）印

ご担当

1500

ISBN978-4-87950-623-8 C0000 ¥1500E

注文数

書名

生物多様性とメディア  
「自然の恵み」の伝え方

発行所

清水弘文堂書房

著者

日本環境  
ジャーナリストの会

定価：本体 1500 円＋税